

会 議 録

会議の名称	令和7年度 第1回 宮代町総合教育会議
開催日時	令和7年8月29日（金）18時30分～19時00分
開催場所	教育支援センター 大会議室
出席委員	町 長 新井 康之（会議議長） 教 育 長 島村 圭一 教育委員 瀧ヶ崎 隆司 教育委員 山田 鋭生 教育委員 大和田 由梨
事務局	企画財政課 課長 井上 正己、主幹 村山 善博
担当課	教育推進課 課長 田中 啓之、副課長 加藤 裕一、副課長 小川 雅也 生涯学習室長 飯山 保孝
会議次第	1 開会 2 あいさつ 3 協議事項 （1）宮代町教育大綱の改定に向けて 4 その他 5 閉会
配布資料	なし（令和7年第8回宮代町教育委員会定例会の資料を使用）
会議の公開	公開
傍聴人数	0人

発 言 者	会議要旨・決定事項
企画財政課 井上課長	1 開会 会議の公開及び議事録・ホームページでの公開を説明した。
議長	2 あいさつ 会議にあたりあいさつを行った。
議長	3 協議事項 (1) 宮代町教育大綱の改定に向けて 【協議】 先の教育委員会定例会でどのような意見交換があったのか、また、追加での意見などあれば伺いたい。
瀧ヶ崎委員	児童生徒のアンケートについて、どのくらい、どのような形で計画に反映させるのか。
教育推進課 小川副課長	アンケートの中には概念的なものが多い。具体的な事項については施策の検討に当たっての参考としていく。また、各学校現場にもフィードバックし、今後の教育活動に役立てていく。
山田委員	こどもにアンケートをとり、それを施策に結び付けるのは難しさがあると感じている。学校教育の中ですでに一定程度実施されている取り組みをもっとやってほしいという意見もある。例えばグループワークは得意な子や好きな子は一定数おり、意見としても挙がってくる。ただし、グループワークの功罪はアクティブラーニングの普及以降明らかになってきている。学校現場や教育委員会での意見の精査が必要であるし、ぜひ慎重にお願いしたい。
瀧ヶ崎委員	具体的な施策を記載する際に、こどもの意見の反映状況などは表していくのか。
教育推進課 小川副課長	表記は予定していない。 (大綱、計画の骨子について担当課より説明)
議長	説明のあった5つの基本目標について、不明な点や不足する事項などがなければなど意見交換をお願いしたい。これに先立って、私の想いや意見についてお伝えしたい。 「基本目標1 確かな学力と自立する力の育成」(1) 一人ひとりのよさ

	や可能性を伸ばし、個性を生かす教育の充実という施策はとても重要だと考えている。GIGAスクールも第2期を迎え、児童生徒も学校現場もだいぶ慣れてきた、また、児童生徒のタブレットも一新することとなっている。第2期ではデジタル技術を更に活用した取り組みができないかと考えている。例えば、AIを活用した英会話学習など、教育の中でのAIの活用もできるのではないかと考えている。海外の児童生徒とインターネットを介し会話するなど実現できればよいと考えている。 また、教育支援センターを活用して、感覚や思考に特性のある子など、心理的な特性の検査や把握などを実施することで、教員やご家族の納得性の高い教育を確保できればと考えている。 あとは、部活動の地域移行。例えば、百間中学校の剣道部は剣友会の先生方の指導により大きく力を伸ばしている。こういった事例が広がればと考えている。スポーツ少年団の野球やサッカーにおいても優秀な指導者は沢山いる、そういった方が部活動と結びつけばよいと考えている。 このようなことが見直しの中で記載できればよいと思っている。
瀧ヶ崎委員	部活動の地域移行については、資料では学校教育と生涯学習が担当となると思うが、大綱の中ではどこに紐づいていくのか。
教育推進課 田中課長	「基本目標3 地域に開かれた質の高い学校教育の推進」に紐づけてもよい。
教育長	基本目標5の(4)地域スポーツの振興でもよいと思う。
教育推進課 田中課長	教育、生涯学習のどちらから見るのかで異なってくる。両方に紐づいてもよいと思う。
教育長	最終的に部活動の地域移行ということであれば、基本目標5の(4)地域スポーツの振興ではないか。学校と地域における児童生徒の体育・スポーツ活動の充実という部分に含まれる。
教育推進課 田中課長	学校の部活動の延長という形なのか、もっと踏み込んで生涯学習の色を強くするのは、これから検討していく必要がある。
瀧ヶ崎委員	今後の検討もあるが、いずれかには紐づけなければならない。
教育長	国がやっているのは、地域でのクラブチーム化だが、町長がイメージしているのは、中学校の部活において顧問もいるが、そこに剣道でいえば剣友会の先生が入ってくるという形である。

	一つは、日曜や土曜の部活で地域の大人に協力してもらう。あとは、少子化の問題もあるので、学校に部活動をあつめる〇〇部は須賀中学校などと、拠点学校として部活を集約していく方法がある。 宮代町では、国のいう地域のクラブチーム化ではなく、こういった手法がなじむと思う。百間中学校での剣道部と剣友会の関係のようなものが、他にも生まれればよい。このように考えると生涯学習の部分と学校の部分と両方からの視点が必要である。
教育推進課 飯山副課長	県の教育振興基本計画においては、最終的には生涯学習での地域スポーツだが、現状はそこまでいっていない、移行の途中。県の計画の中では持続可能な部活動という表記もあり、今の段階では学校か生涯学習かのどちらかではない。 また、クラブチームに参加する生徒は部活動で大会に参加できないといったこともある。今後、部活動がどうあるべきかという視点での議論も必要である。
教育長	そのあたりは市町によってまちまち、国の助成を受けて取り組んでいる白岡市は少し進んでいる。蓮田市では少子化対策として拠点校での部活動などを実施している。その中に地域の大人に指導してもらうという形も入ってきている。
教育推進課 飯山副課長	白岡市では部活動があり、そこに地域の大人、指導者が入っている。これまでの話からすると、部活動は引き続きあり、そこに地域スポーツの振興の中で育った指導者が関わっていくという形が見えてくる。
教育推進課 小川副課長	本日は、大きな柱だてを確認していただいた。今後、細かな施策を検討し、その中で多少の修正があるかもしれないが、次回10月の当会議までには固めていきたいと考えている。
議長	今後、具体的な施策を検討いただくとと思うが、本日の議論も踏まえていただければと思う。 4 その他 (なし) 5 閉会